

**小野田欣也教授
退任記念号**



小野田 欣也教授 近影

小野田先生のご退任に寄せて

杏林大学総合政策学部長

北 島 勉

小野田欣也先生は、平成31年度末をもって杏林大学総合政策学部を定年退職され、その後も特任教授として学部及び大学院国際協力研究科における教育にご尽力いただいている。小野田先生の杏林大学総合政策学部へのこれまでの多大なご貢献に対し、杏林社会科学研究の本号を深い感謝の思いとともに、小野田先生の退任記念号とさせていただきます。

小野田先生は、慶応義塾大学経済学部をご卒業後、慶応大学大学院経済学研究科において経済学修士を取得された。1984年4月に杏林大学社会科学部（総合政策学部の前身）に専任講師として就任、その後、准教授を経て1997年4月に教授に昇任され、大学院国際協力研究科教授を兼任されながら、学部及び大学院の発展のためにご尽力をいただいた。

小野田先生のご専門は国際経済学で、特に日本や諸外国の通商政策に関する研究に取り組み、多数の著書や論文を発表された。近年は、地球温暖化対策と日本のエネルギー政策や貿易政策のあり方に関するご研究も行われている。多数ある研究業績の中には、小野田先生が編者の一人として出版された2冊の著書があるが、いずれも、総合政策学部の教員の多様な研究をまとめたものであり、学部の研究促進にも大きく貢献されたといえる。学会活動においては、日本国際経済学会、アジア経済研究所、日本貿易振興会において、数々の研究報告をされた。さらに、大学学務においては、2008年から12年まで、総合政策学部教務部長、杏林学園理事を務められ、総合政策学部だけではなく、杏林大学の発展に貢献された。

個人的には、私が総合政策学部に移動し、まだ「若手」と呼ばれていた頃に、同世代の先生方と新宿の中華料理店で食事をした際に、小野田先生にも

ご参加いただき、円卓を囲みながら楽しくお話をしたことが忘れられない思い出である。

本号は、小野田先生と研究教育活動を一緒にやって来られた杏林大学総合政策学部の経済系を中心とする教員諸氏の論文を集めたものである。小野田先生におかれては、先生の長年の学部へのご貢献に対する感謝の証としてご高覧いただき、引き続きご指導いただく縁としていただければ幸いである。